

事業報告

事発番号: 事13-008号

事業名: 第24回京臨技北部学術発表会

日時: 平成25年11月30日(土)12:45~17:05

場所: 京都府立中丹勤労者福祉会館

主 題1: 発表演題(微生物2題、病理3題、生理2題、チーム医療1題)

講 師1: 座長(4人)、演者(8人)

主 題2: 特別講演「コミュニケーションに活用するコーチングの基礎」

講 師2: 高橋美佐(NPO法人ヘルスコーチ・ジャパン)

参加数: 47人(会員33人、非会員3人、賛助会員11人)

報告者: 滝本寿史(綾部市立病院)

以下、講演内容など

今回で第24回になる京臨技北部学術発表会(通称北部学会)を、京都府立中丹勤労者福祉会館(福知山市)で開催しました。発表演題と特別講演の2部で構成しました。発表演題は、微生物2題、病理3題、生理2題、チーム医療1題で合計8題の発表がありました。どの演題も、臨床における貴重な症例や、取り組みをまとめたもので興味深い発表でした。積極的な質問も多くあり、活発な論議がなされました。特別講演は、NPO法人ヘルスコーチ・ジャパンの高橋美佐先生を迎えて、コーチングをテーマに講演していただきました。「コミュニケーション・スタイルを活用して、人間関係力をアップしよう!」というサブタイトルがありました。コーチングとは相手の目標達成を支援する技法で、コミュニケーション・スタイルとはコミュニケーションの傾向、好み、クセのこと。コーチングは、相手と良好な関係を築くことが大前提になります。コミュニケーション・スタイルが人によって異なることを知り、相手に合わせて会話のやり方を工夫することは、コーチングに欠かせない技法のひとつです。コーチングに限らず、日常の仕事や家庭においても、コミュニケーション・スタイルを活用すると、人間関係をさらに円滑にさせるということを学びました。やる気のでる仕事のたのまれ方、承認(ほめる、認める、変化に気付く、ねぎらう)の実践もあり、参加者全員が楽しい時間を過ごすことができました。

議案書事業報告用

北部学術発表会は通称・北部学会と呼ばれ、北部の一大行事として定着しています。24回目になる今回は、発表演題と特別講演の2部で構成しました。発表演題は、微生物2題、病理3題、生理2題、チーム医療1題で合計8題の発表がありました。特別講演は、NPO法人ヘルスコーチ・ジャパンの高橋美佐先生を迎えて、コーチングをテーマに講演していただきました。コミュニケーション・スタイル(傾向、好み、クセ)が人によって異なることを知り、人間関係を円滑にさせるということを学びました。やる気のでる仕事のたのまれ方、承認(ほめる、認める、変化に気付く、ねぎらう)の実践もあり、参加者全員が楽しい時間を過ごすことができました。

議案書次年度計画用

今年度は第25回の記念大会になります。発表演題、特別講演を中心に、さらに盛大に開催できるよう企画します。また、技師同士との情報交流を図ります。